

# News Release



令和6年1月26日

各報道機関文教担当記者 殿

## 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会 — 分野を超えた、文理医融合の合同チームによる報告 —

令和6年能登半島地震の発生を受け、金沢大学は石川県に立地する国立の総合大学として、急性期の現状把握や復興対策に役立つ公共性・公益性の高い情報の発信に向けた調査や、被災された方々に心から寄り添うための支援活動を展開しています。

今回の震災に関する現在までの調査内容と支援活動の状況について、令和6年能登半島地震金沢大学合同調査チーム「KUD」(※1)、こころのケアを目的とした専門チーム「KEYPAT」(※2)は、下記のとおり報告会を開催します。

については、当日の取材・報道をよろしく申し上げます。

記

日	時	: 令和6年2月3日(土) 14時00分～16時00分
会	場	: 金沢大学角間キャンパス 自然科学大講義棟
対	象	: どなたでも
定	員	: 250名
内	容	: 金沢大学の教員が、令和6年能登半島地震に関する 現在までの調査内容、支援活動の状況について報告を行います。 (詳細は別添のチラシをご覧ください)

以上

### 【本件に関する問い合わせ先】

#### ■ 報告会に関すること

KUD 事務局 寺川  
TEL: 076-264-5289  
E-mail: kud@adm.kanazawa-u.ac.jp

#### ■ 広報担当

広報戦略室 川田  
TEL: 076-264-5024  
E-mail: koho@adm.kanazawa-u.ac.jp

※1 「KUD」: Kanazawa University against Disaster

※2 「KEYPAT」: Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team

申込日：令和6年 月 日

取材をご希望の際は、  
**2月1日(木)17時までに、下記の宛先に本申込書を添付し、メールまたはFAXにてお申込みください。**

**【広報担当】**

金沢大学広報戦略室

**Mail** : [koho@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:koho@adm.kanazawa-u.ac.jp)

**FAX** : **076-234-4015**

## 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会 取材申込書

報道機関名： \_\_\_\_\_

取材記者名： \_\_\_\_\_ 様

連絡先： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

同行者（記者を除く）： \_\_\_\_\_ 名

カメラ等の台数： \_\_\_\_\_

(例) テレビカメラ 1台

**日時**：令和6年2月3日(土) 14:00～16:00

**受付場所**：金沢大学角間キャンパス 自然科学大講義棟

※別添の角間キャンパスマップをご参照ください。

※開始10分前の13:50までに受付を済ませてください。

# 令和6年能登半島地震 調査・支援活動報告会



令和6年能登半島地震金沢大学合同調査チーム「KUD」<sup>※1</sup> および、  
こころのケアを目的とした専門チーム「KEYPAT」<sup>※2</sup> は、下記のとおり今般の地震に関する現在までの調査と支援活動について、  
報告会を行います。

## -PROGRAM-

総合司会：山岸 雅子（金沢大学理事・副学長）

### 開会挨拶

14:00

中村 慎一（金沢大学理事・副学長・KUDチーム総括）

### 調査・支援活動報告① 司会：堀 修（医薬保健研究域長）

14:05

#### 報告1 附属病院の医療支援・災害対応

蒲田 敏文（副学長・附属病院長）

#### 報告2 保健学系における二次避難所の支援報告

表 志津子 教授（医薬保健研究域保健学系）

#### 報告3 能登半島地震における全学メンタルサポートチーム KEYPAT (Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team) の 立ち上げ

吉川 弘明 教授（保健管理センター）

— 休憩 —

### 調査・支援活動報告② 司会：松本 宏一（理工研究域長）

14:50

#### 報告4 AIと空中写真を用いた被災建物の損傷程度の自動判定システム の開発と避難所の開設状況の分析

藤生 慎 准教授（融合研究域融合科学系）

森崎 裕磨 助教（融合研究域融合科学系）

#### 報告5 令和6年能登半島地震の発生メカニズム

平松 良浩 教授（理工研究域地球社会基盤学系）

#### 報告6 能登半島地震：九十九湾一珠洲沿岸における海底堆積物・生物 影響調査速報

ジェンキンズ ロバート 准教授（理工研究域地球社会基盤学系）

— 休憩 —

### 調査・支援活動報告③ 司会：松本 宏一（理工研究域長）

15:25

#### 報告7 地盤被害調査について

小林 俊一 准教授（理工研究域地球社会基盤学系）

#### 報告8 建物被害調査について

村田 晶 助教（理工研究域地球社会基盤学系）

#### 報告9 津波の概要と被害調査について

榎田 真也 教授（理工研究域地球社会基盤学系）

### 閉会挨拶

15:55

大竹 茂樹（金沢大学理事・副学長・融合研究域長）

## お問合せ

令和6年能登半島地震金沢大学合同調査  
チーム「KUD」事務局

e-mail: kud@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 主催

令和6年能登半島地震金沢大学合同調査チーム「KUD」、  
こころのケアを目的とした専門チーム「KEYPAT」

※1 「KUD」(Kanazawa University against Disaster)

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/research/centers/kud>

※2 「KEYPAT」(Kanazawa Educational Yell Psychological Assistance Team)

[https://hsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/keypat\\_message/](https://hsc.w3.kanazawa-u.ac.jp/keypat_message/)

令和6年  
2月3日(土)  
14:00~16:00

■対象 どなたでも

■定員 250名

■参加費 無料

■会場 自然科学大講義棟  
(金沢大学角間キャンパス)

※会場へのアクセスは別紙をご覧ください。

## ■お申込み

【申込フォーム】

下記のQRコードからアクセスしてください



申込締切：令和6年2月1日(木)17時

※締切前でも定員に達した場合は受付を終了します。

※人数把握のため、個人でお申込みください。

# 令和6年能登半島地震調査・支援活動報告会 案内図



**[会場アクセス]**  
(北陸鉄道バスをご利用の場合)  
「金沢大学」行きに乗車。「金沢大学自然研前」バス停で下車。  
自然科学本館正面入り口よりお入りください。  
(自家用車をご利用の場合)  
M駐車場をご利用のうえ、自然科学図書館棟入り口よりお入りください。